

帰国報告書

ユジノサハリンスク市
サハリン国立総合大学
奥間 智絵

(1) 年間業務日程

2018年

- ・ 9月17日 着任
- ・ 9月下旬 前期授業開始

2019年

- ・ 1月中旬 前期授業終了
試験期間
- ・ 2月初旬 後期授業開始
- ・ 5月17日 第20回サハリン弁論大会
- ・ 6月下旬 後期授業終了
- ・ 6月29日 帰国

(2) 赴任校の概要

- ・ サハリン国立総合大学（フョドロフ・オレグ・アナトリヴィチ学長）
- ・ サハリン国立総合大学附属言語・歴史・東洋学学部
(Институт филологии, истории и востоковедения Сахалинского государственного университета / Institute of philology, history and asian studies)

- ・ 所在地：693000, Россия, Сахалинская область, Южно-Сахалинск,
Коммунистический проспект, 33 / Sakhalin state, Yuzhino-Sakhalinsk, Communist street 33

- ・ 電話番号：＋7 4 2 4 2 4 5 2 3 0 1

- ・ 国際部担当者：ビクトル・イヴァーナヴィチ・コルスノフ（Виктор Иванович Корсунов / Viktor Ivanovich Korsunov）

- ・ 日本語コース設置年：1987年

- ・ 日本語コース責任者：シャシキナ・オリガ・ブラディーミロブナ（Шашкина Ольга Владимировна / Shashkina Olga Vladimirovna）

- ・ 電話番号：＋7 4 2 4 2 4 5 4 1 8 0

- ・日本語コースカリキュラム
東洋学部：日本語選択科目
教育学部：日本語選択科目，日本語教師養成
- ・日本語履修学生数：1年生17名（教育学部／報告者担当）
2年生23名（教育学部／報告者担当）
3年生11名（東洋学部／報告者担当）
4年生8名（東洋学部）
- ・日本語履修学生のレベル：1年生（初級）
2年生（初中級）
3年生（中級）
4年生（中上級）
- ・日本語教師数：ロシア人教師5名（韓国系ロシア人2名含む）
日本人教師2名（報告者含む）

（3）報告者の日本語教育業務

- 1年生：後期のみ。週1回『みんなの日本語初級Ⅰ』第6課まで。
文型導入・演習，リスニング，会話練習など。筆記試験。ほぼ皆問題なくつ
いてきている。
- 2年生：通年。週2回『みんなの日本語初級Ⅰ，Ⅱ』第32課まで。
文型導入・演習，リスニング，会話練習，作文など。作文・スピーチで成績
評価。休みがちな学生もいるが，全体としてはよく理解できている。
- 3年生：通年。隔週1回『みんなの日本語初級Ⅱ』『中級から学ぶ日本語』
教科書の内容の他に，視覚教材やインターネットからの資料を使った演習も
行った。日本へ短～中期留学経験のある学生が多くいるため，全体としては
意欲が高く理解もよい。

日本語能力試験対策講座：前期のみ。週2回。N2，3受験者向け。

試験問題全般について問題演習。

N3は1名受講していたが風邪で受験せず。N2は2名受
講していたが，うち1名はすでにN2は合格していて，当
日はN1を受験したが合格しなかった。1名はN2を受
験し，合格。

課外指導：日本語弁論大会参加者の添削・指導

サハリン国立総合大学より 8 名，日本センターより 4 名参加。

数回にわたり，発音・発表練習

1 位 サハリン国立総合大学 2 年生『スポーツボランティアから学んだこと』

2 位 日本センター受講生『世界を理解する 3 つの鍵』

3 位 日本センター受講生『活動的な生活』

特別賞 サハリン国立総合大学 2 年生『背が高いという欠点』

日本センター受講生『翻訳・通訳の必要性』

・反省点と今後の展望

赴任してしばらくの間は，「ロシアの大学生」という学習者の性格をとらえるのに苦心した。媒介語がなく，ほとんど日本語だけで意思疎通しなければならないため，初めのうちはちょっとした指示も伝わりにくいことも多かった。

しかし授業を重ねていくうちに，学生の学習レベルはもとより，相互理解も進み，徐々に楽しく，スムーズに授業を進めることが出来るようになった。

日本に最も近い場所に位置する大学で学んでいるため，留学に出ていく学生も非常に多い。この地理的利も生かして，ぜひロシアと日本をつなぐような人材に育ててほしいと思う。

(4) その他業務

毎週水曜日，総領事館にて残留日本人のご子孫向けに日本語授業。

サハリンで生まれ育ったため，日本語があまり身についていないが，日本に親類を訪ねたり，交流事業で訪れたりする際により良くコミュニケーションできるよう，日本語を学んでいる。

年齢もあり，ひらがなは覚えられないので，ロシア語でルビを振って提示。会話中心。10 名前後の方が参加。

(5) 青年交流

2018 年

・ 11 月 ロシア国防省主催セミナー

『グローバル化か／伝統的な価値観を守る独創性かー日本の将来の選択ー』
にて発表

・ 12 月 日本センターにてビジターセッション

2019年

- ・2月 東洋ギムナジウムにて『東洋言語フェスティバル』参加
- ・3月 サハリン国立総合大学にて『子ども日本語詩暗唱大会』
- ・5月 第20回サハリン弁論大会
- ・毎月 日本センターにて会話クラブ
- ・随時 ギムナジウム訪問

(6) 任地事情

物価は高いが必要な物は手に入られる。韓国・日本製品も多く出回っている。

大学各校舎、寮ともに市街中心部に位置しており徒歩で移動可能。

治安は非常に良く感じた。

気候は寒さの底の時期を除けば日本の四季とおおよそ同じに感じられ、それほど辛くはなかった。

(7) おわりに

ロシアの中でも、日本と特別な縁をもつ旧樺太の地に派遣されるとは思ってもみなかった。

この地で暮らしたことをきっかけに、日本とロシアの歴史的関係、今後のより良い関係構築に関心を持つようになった。

着任当初は、昔日を思わせるような生活環境に戸惑うことが多かったが、慣れてくるとそこに良さも見出せるようになった。

歴史的経緯からアジア系住民が多い地で、ロシア語が全く分からないながらも、人々は親切に受け入れてくれた。

距離的な近さ、関係の重要さにも関わらず、一般的な日本人があまり目を向けないロシアで暮らす貴重な経験ができた。

